

取り付け後の確認事項

15 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。



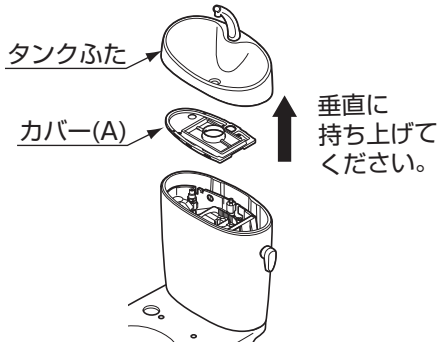
動画を見る

施工手順

https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/senjiyou_6.htm



② タンクふたとカバー(A)を外す。



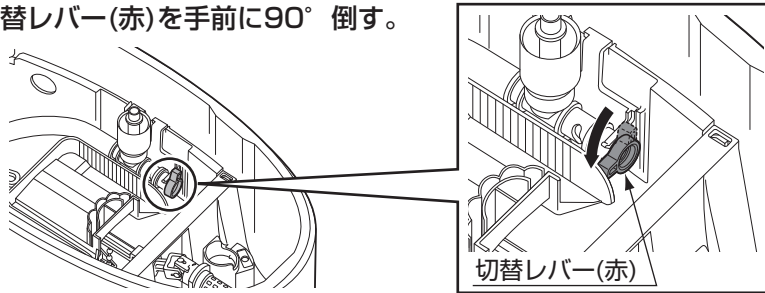
⚠ 注意



必ず実行

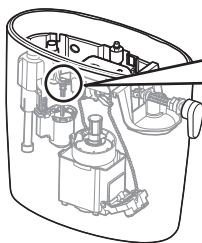
タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。

③ 切替レバー(赤)を手前に90° 倒す。



④ ボールタップの浮玉取付位置を下段の凹部に変更する。

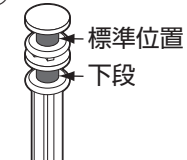
※浮玉の取り外し、取り付けの際は無理に力を加えず、傷、バリが出ないようにしてください。浮玉レバーに引っかかり、止水不良になる可能性があります。



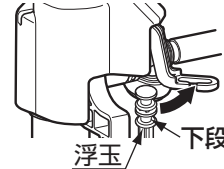
① 浮玉を外す



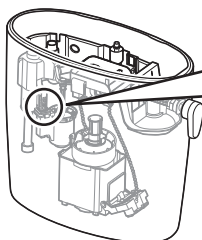
②



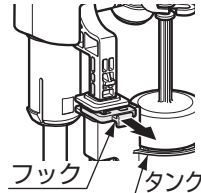
③ 下段の凹部を取り付ける



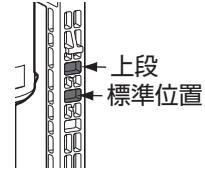
⑤ フックを解除し、ボールタップのタンク取付位置を上段に変更する。



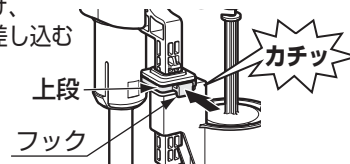
① フックを解除する



②



③ 上段に上げ、フックを差し込む



次ページにつづく

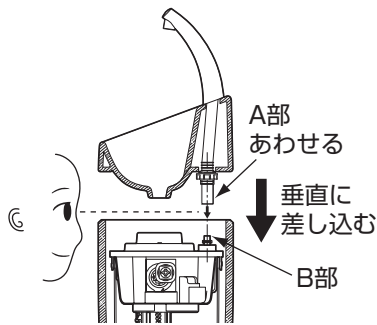


取り付け後の確認事項

15 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法（つづき）

⑥ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

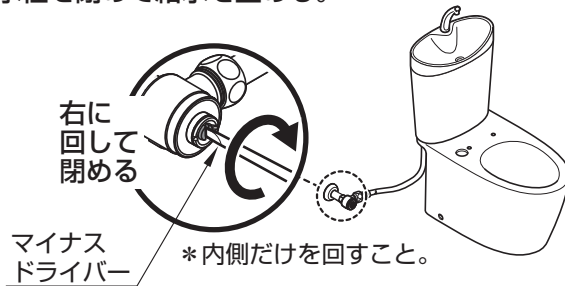
確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⑦ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

16-1 大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。



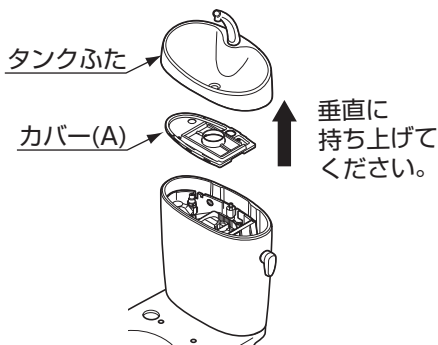
動画を見る

施工手順

https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/senjou_8.htm



② タンクふたとカバー(A)を外す。



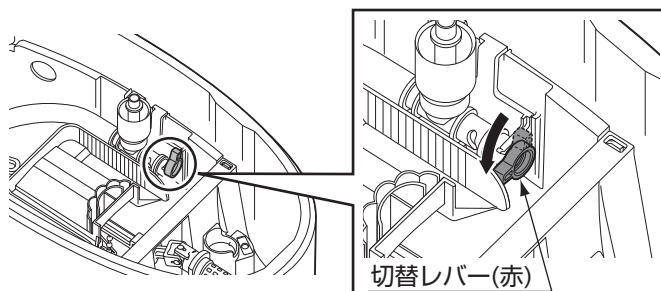
⚠ 注意



必ず実行

タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。

③ 切替レバー(赤)を手前に90° 倒す。



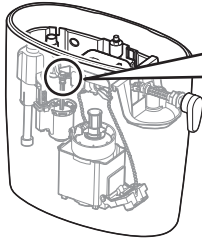
次ページにつづく ➡

取り付け後の確認事項

16-1 大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法（つづき）

④ ボールタップの浮玉取付位置を下段の凹部に変更する。

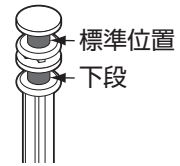
※浮玉の取り外し、取り付けの際は無理に力を加えず、傷、バリが出ないようにしてください。浮玉レバーに引っかかり、止水不良になる可能性があります。



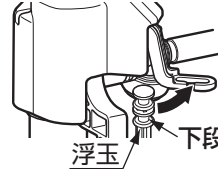
① 浮玉を外す



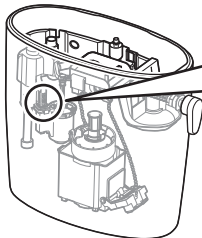
②



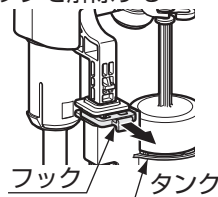
③ 下段の凹部を取り付ける



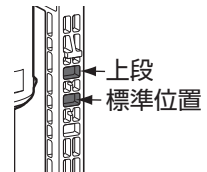
⑤ フックを解除し、ボールタップのタンク取付位置を上段に変更する。



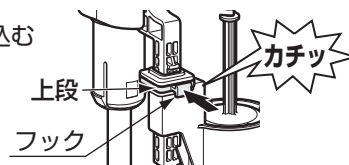
① フックを解除する



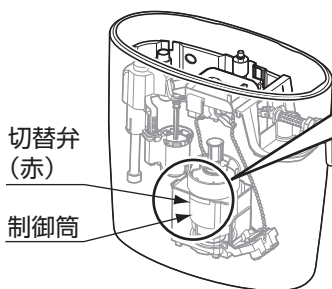
②



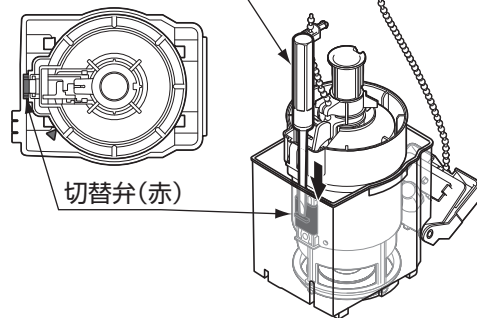
③ 上段に上げ、フックを差し込む



⑥ 先の長いマイナスドライバーなどを排水弁の上方から差し込み、制御筒横の切替弁(赤)を下げる。



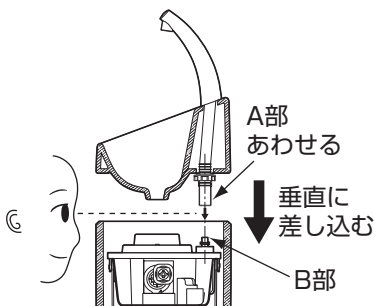
マイナスドライバーなど



※切替弁を下げられないときは、**16-2**を参照ください。

⑦ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⑧ 取り付け完了後の確認をする。

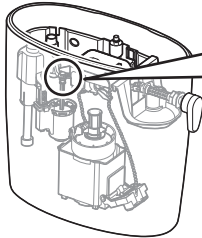
- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

取り付け後の確認事項

16-1 大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法 (つづき)

④ ボールタップの浮玉取付位置を下段の凹部に変更する。

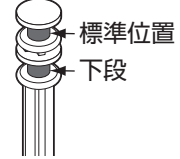
※浮玉の取り外し、取り付けの際は無理に力を加えず、傷、バリが出ないようにしてください。浮玉レバーに引っかかり、止水不良になる可能性があります。



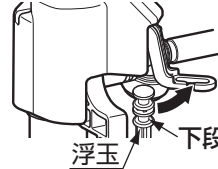
① 浮玉を外す



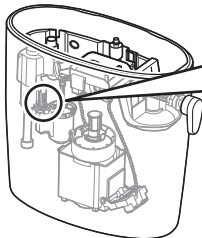
②



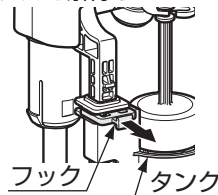
③ 下段の凹部を取り付ける



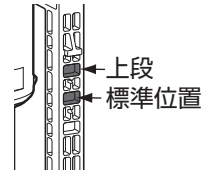
⑤ フックを解除し、ボールタップのタンク取付位置を上段に変更する。



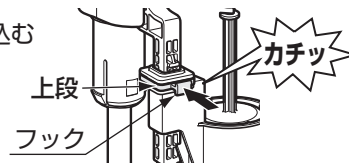
① フックを解除する



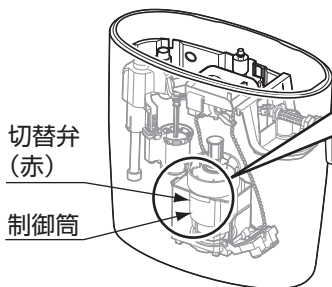
②



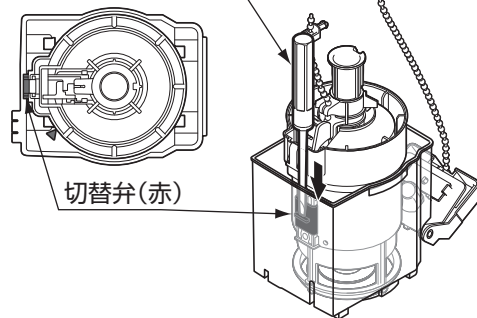
③ 上段に上げ、フックを差し込む



⑥ 先の長いマイナスドライバーなどを排水弁の上方から差し込み、制御筒横の切替弁(赤)を下げる。



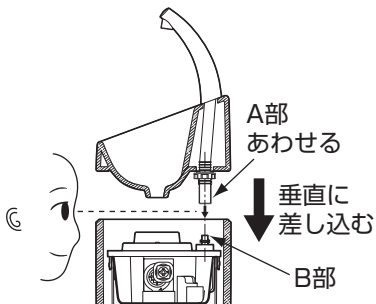
マイナスドライバーなど



※切替弁を下げられないときは、**16-2**を参照ください。

⑦ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

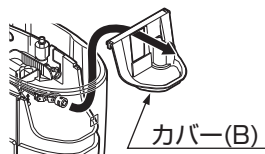
⑧ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

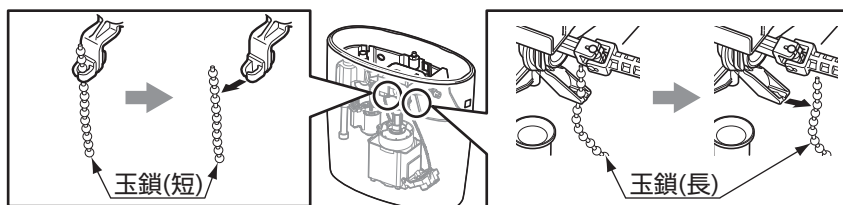
取り付け後の確認事項

16-2 制御筒横の切替弁を下げる事ができなかった場合

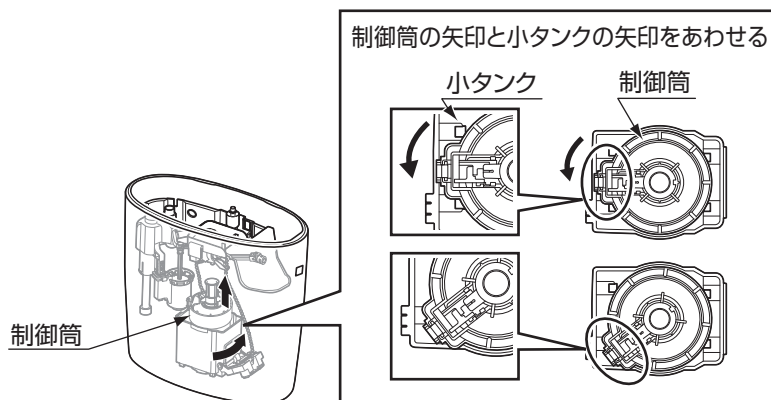
- ① レバーハンドルを取り外し、カバー(B)を取り外す。



- ② 玉鎖を外す。



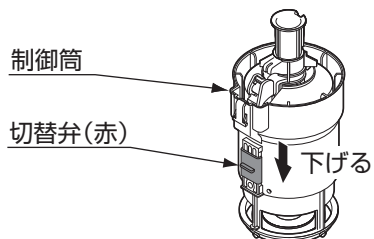
- ③ 制御筒を反時計回りに回して外す。



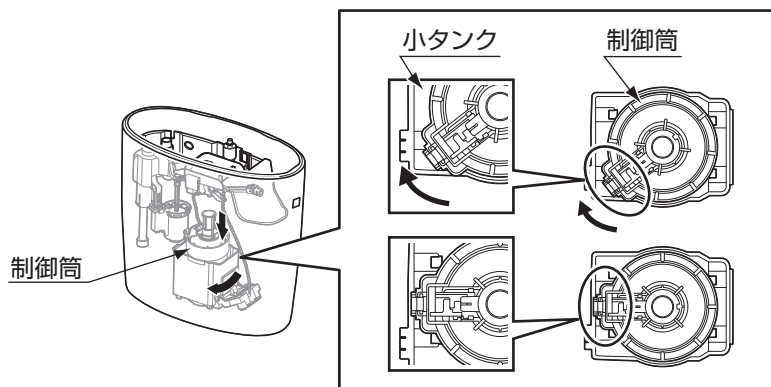
注意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。

- ④ 制御筒横の切替弁(赤)を下げる。



- ⑤ 制御筒を時計回りに回して取り付ける。



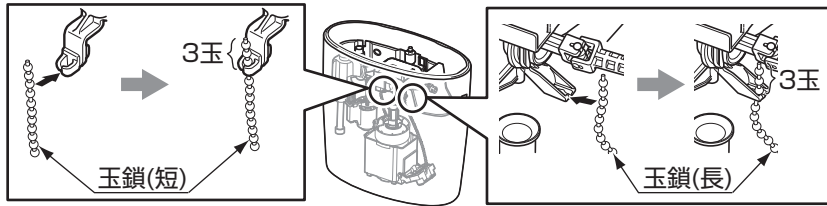
次ページにつづく →

取り付け後の確認事項

16-2 制御筒横の切替弁を下げる事ができなかった場合(つづき)

⑥ 玉鎖を3玉余して取り付ける。

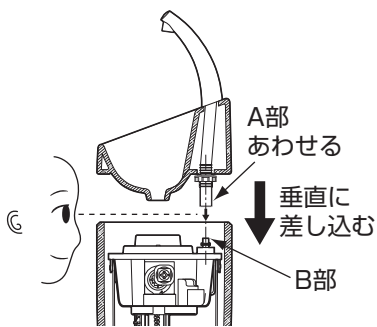
正しく取り付けないと止水不良になります。



⑦ カバー(B)とレバーハンドルを取り付ける。

⑧ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む
 確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

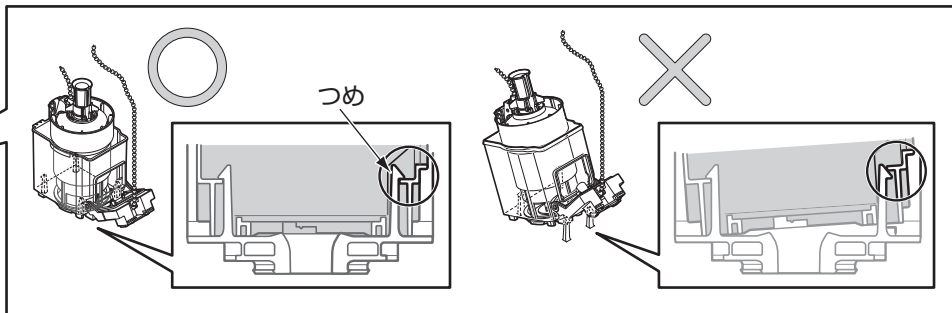
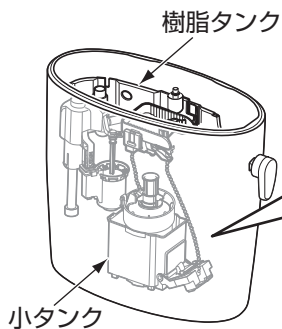
⑨ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

17 便器に水が流れ続ける場合の対応方法

樹脂タンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。

18ページ ⑭-①、②を実施後、小タンクを上から押さえはめ直してください。



⚠ 注意



必ず実行

小タンクの4隅をつめ4カ所にはめ込む
 確実にはめ込まれていないと止水不良のおそれがあります。